

平成26年度 社会福祉法人 河北町社会福祉協議会事業報告

1. 概要

本法人は昭和40年4月20日に設立され、今日まで幾多の課題に直面しながらも、先人のたゆまぬ努力により地域福祉の増進に取り組んでまいりました。

昨年度は、第3期地域福祉活動計画の2年目として、推進を図るとともに住民主体の地域福祉活動と地域の福祉力を育み、高めていくための基盤づくりと関係機関・団体等との協働活動に取り組んでまいりました。

また、社会に対する法人経営実態の説明責任や事業効率性の確保と透明化を図るため、会計ルールの一元化による事務の簡素化のために社会福祉法人新会計基準への移行（平成27年度完全移行）がスムーズにできるよう取り組んでまいりました。更に、新たに「河北町社会福祉協議会事業」のPRとしてホームページを10月から暫定的に開設し充実を図っております。

ボランティア団体の育成としては、谷地高校と寒河江高校とのキャンパス制生徒会交流事業による石巻災害復興ボランティア活動への支援を行うとともに新たな事業として、これまでのメッセージボランティア「いろえんぴつ」とコラボレーションしての絵手紙教室を開催し、寝たきり高齢者等に対して絵手紙をお届けして好評をいただいております。

更に、今年度から白寿の方々にこれまで社会福祉協議会がお祝い金を贈呈していたのを変更して河北町からの記念品と合わせて社会福祉協議会からの絵手紙を贈呈することができました。

高齢者福祉では、歌声喫茶や委託事業として介護予防運動教室を継続して開催し、一人暮らし高齢者等への緊急通報装置の増設を図り安全・安心を推進しております。

また、町では河北町「無事かえる」支援事業を10月1日からスタートして徘徊高齢者の登録を開始することになり、そのため、認知症の理解を得るため認知症出前講座や認知症サポーター養成講座などの研修会を開催しました。そして、地域の福祉課題等を話し合う「福祉推進員研修会」を開催して情報交換と住民協働の地域福祉活動等について確認しまし

た。

更に、本町婦人会日赤奉仕団活動として石巻市社会福祉施設を訪問し山形いも煮を提供しての交流活動や公募による町民参加を呼び掛けて石巻市被災者からの体験談「語り部」を聞き、被災地の復興状況について視察研修などに福祉バスを派遣しました。

ボランティアフェスティバルでは、福祉功労者の表彰とボランティア作文コンクール表彰を開催後、災害救援ボランティア講演会「福島県の復興状況と今後のボランティア活動について」サブテーマ「震災、原発事故後支援活動について」を障がい者を支援するNPO法人シャローム代表理事大竹静子氏と顧問の大竹隆氏による講演を聞くとともに炊き出し訓練を行いました。また、総合福祉センターの清掃業務をNPO法人ひだまりの家かほくに障がい者福祉の一助として継続して委託しました。

以下、事業の実施状況について、会計経理区分毎に報告します。

2. 事業推進項目

1. 一般会計

| 項目 (経理区分毎) | 内 容 | 支出決算額 単位：円 |
|---------------|---|---------------|
| 1. 法人運営 | ①法人運営 ②理事会、評議員会の開催 ○理事会の開催 第1回理事会 5月 28日 議第1号 副会長選任の専決処分の承認について | 34,067,175 |

| | |
|---|--|
| <p>議第 2 号 平成 2 5 年度事業報告の認定について</p> <p>議第 3 号 平成 2 5 年度一般会計収支決算の認定について</p> <p>議第 4 号 平成 2 5 年度公益事業特別会計収支決算の認定について</p> <p>監査報告</p> <p>議第 5 号 経理規程の一部改正について</p> <p>議第 6 号 平成 2 6 年度一般会計第 1 回収支補正予算について</p> <p>議第 7 号 平成 2 6 年度公益事業特別会計第 1 回収支補正予算について</p> <p>議第 8 号 評議員の選任について</p> <p>第 2 回理事会 6 月 2 日</p> <p>議第 9 号 副会長の選任について</p> <p>議第 10 号 評議員の選任について</p> <p>第 3 回理事会 9 月 2 5 日</p> <p>議第 11 号 平成 2 6 年度一般会計第 2 回収支補正予算について</p> <p>議第 12 号 平成 2 6 年度公益事業特別会計第 2 回収支補正予算について</p> <p>議第 13 号 福祉功労者の表彰について</p> <p>議第 14 号 評議員の選任について</p> <p>第 4 回理事会 1 2 月 1 8 日</p> <p>議第 15 号 平成 2 6 年度公益事業特別会計第 3 回収支補正予算について</p> <p>議第 16 号 経理規程の全部改正について</p> <p>第 5 回理事会 3 月 1 9 日</p> <p>議第 17 号 平成 2 6 年度一般会計第 3 回収支補正予算について</p> | |
|---|--|

議第 18 号 平成 26 年度公益事業特別会計第 4 回収支補正予算について
議第 19 号 平成 27 年度会費の根拠額について
議第 20 号 平成 27 年度事業計画について
議第 21 号 平成 27 年度収支予算について
議第 22 号 評議員の選任について

○評議員会の開催

第 1 回評議員会 5 月 29 日

議第 1 号 平成 25 年度事業報告の認定について
議第 2 号 平成 25 年度一般会計収支決算の認定について
議第 3 号 平成 25 年度公益事業特別会計収支決算の認定について
監査報告

議第 4 号 平成 26 年度一般会計第 1 回収支補正予算について
議第 5 号 平成 26 年度公益事業特別会計第 1 回収支補正予算について
議第 6 号 理事の選任について

第 2 回評議員会 9 月 26 日

議第 7 号 平成 26 年度一般会計第 2 回収支補正予算について
議第 8 号 平成 26 年度公益事業特別会計第 2 回収支補正予算について

第 3 回評議員会 12 月 19 日

議第 9 号 平成 26 年度公益事業特別会計第 3 回収支補正予算について

第 4 回評議員会 3 月 20 日

| | | |
|--|--|--|
| | <p>議第 10 号 平成 26 年度一般会計第 3 回収支補正予算について</p> <p>議第 11 号 平成 26 年度公益事業特別会計第 4 回収支補正予算について</p> <p>議第 12 号 平成 27 年度会費の拠出額について</p> <p>議第 13 号 平成 27 年度事業計画について</p> <p>議第 14 号 平成 27 年度収支予算について</p> <p>議第 15 号 理事の選任について</p> <p>議第 16 号 監事の選任について</p> <p>○三役会議 随時</p> <p>○監事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決算監査 5 月 19 日 ・中間監査 11 月 25 日 <p>③本会活動の広報、啓発のため「社協だより」やパンフレット等の発行</p> <p>イ. 「社協だより」 3 回（6. 12、3 月） 6, 000 部発行</p> <p>ロ. イベントにおける広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24 時間テレビ「愛は地球を救う in かほく」8 月 31 日（日）どんがホール ・河北町健康フェスティバル 9 月 21 日（日）サハトベに花 <p>④財源基盤の確立のため、会員の確保、拡大</p> <p>一般会費（H26 5, 110 件 6, 132, 000 円）</p> <p style="padding-left: 2em;">（H25 5, 091 件 6, 109, 200 円）</p> <p style="padding-left: 2em;">（H24 5, 164 件 6, 196, 800 円）</p> | <p style="text-align: right;">（会費収入 6,162,000）</p> |
|--|--|--|

賛助会費 (H 2 6 1 2 件 3 0, 0 0 0 円)
(H 2 5 1 0 件 2 5, 0 0 0 円)
(H 2 4 1 2 件 3 0, 0 0 0 円)

⑤ 寄付金等の受領

・イオンリテール(株) イオン東根店 車イス 1 台

⑥ 県、町、県社協など関係機関との連絡調整

⑦ 職員研修の実施

⑧ 河北町老人クラブ連合会の事務受託

⑨ スノーバスターズ事業

一人暮らし高齢者等の通路の除雪支援を小型除雪機により行うボランティア組織（スノーバスターズ隊）の事業

H 2 6 年度は 1 月 1 0 日（土）に発隊式（操作訓練）を行い、5 4 人で編成、出動は、2 回となった。

(H 2 5 1 回出動)

(H 2 4 3 回出動)

(H 2 3 5 回出動)

⑩ 結婚相談所の開設

結婚相談員により、毎週の結婚相談所の開設のほか、研修会及びむらやま婚活ネットワーク「仲人ネット」へ参加するなど、少子化対策を関係者と連携して進めた。

開設日 . . . 第1、第2、第3(火)は、夜間開催
4月～9月 18:30～20:30・10月～3月 18:00～20:00

・研 修

10月8日(水) やまがた婚活応援団(プラス+) 研修会 (山形県自治会館)

3月13日(金) やまがた婚活応援団(プラス+) 研修会 (山形県自治会館)

12月19日(金) 婚活講座 佐藤律子氏 寒河江市ハートフルセンター

・毎月第4火曜日は、全体会として情報交換を行っている。

・事 業

1) 結婚相談所 (H27.3.31現在)

・登録者数 124人 (内、河北町民 29人)

男 102人 (内、河北町民 22人)

女 22人 (内、河北町民 7人)

・相談件数 1,014件(49) ・紹介件数 414件(49)

・お見合い件数 100件(24) ・現在交際中 1件

・結婚成立数 8件(2)

2) むらやま婚活ネットワーク「仲人ネット」

毎月1回開催される情報交換会へ参加し、近隣市町の仲人と情報交換を図った。

⑪福祉功労者の表彰

第6回ボランティア・フェスティバルの際に表彰を行った。

10月25日（土）河北町総合福祉センター「すこやか広場」

| | |
|--------------------|-------|
| ・ 民生児童委員功労者 | 該当者なし |
| ・ 家族等を長年にわたり介護された方 | 6人 |
| ・ 一般社会福祉功労者 | 1人 |
| ・ 社会福祉事業関係功労者 | 該当者なし |
| 計 | 7人 |

⑫各地区やすらぎ推進会議助成

やすらぎ警報器の設置者と警報の受信者協力者の連携推進を図るため、各地区の推進会議に助成支援を行った。

- ・ 3月13日（金） 西里地区
- ・ 2月20日（金） 北谷地地区
- ・ 3月 9日（月） 溝延地区
- ・ 谷地地区は、物品配布による訪問活動を行った。

⑬長寿（白寿）祝い金

平成26年度より祝い金贈呈を廃止

寄付金、社協費などで贈呈、実績、H19～25年度 7か年で76名

⑭各種団体助成

各団体の地域福祉事業の推進のため助成支援を行った。

《助成団体》

- ・民生児童委員協議会
- ・老人クラブ連合会
- ・身体障害者福祉協会
- ・心身障害児者協会
- ・遺族連合会
- ・手をつなぐ育成会

⑮ボランティア連絡協議会

ボランティア連絡協議会の事務局として、加盟団体の支援を行うとともに、ボランティアの日の事業やボランティア・フェスティバルに参加するなど各団体の連携を図った。特に、今年度は東日本大震災の復興支援に各団体が積極的に取り組まれ、社協としても、現地との調整、大なべの貸出、福祉バスの貸出などの支援を行った。

《加盟団体数》 16団体

《ボランティアの日》・・・谷地祭りの前の日曜日

- ・9月7日（日） 午前6時～7時
- ・参加者数 （H26 387人）
（H25 348人）
（H24 328人）

⑯火災予防の指導

「福祉だより」に住宅火災を予防するためのポイントや、住宅火災の原因について掲載し、火の取り扱いへの注意喚起を行った。

⑰福祉推進員の設置

各区に福祉推進員の設置を目指し、第2期の福祉推進員を委嘱した。福祉推進員の資質向上のため調査研究や情報交換、研修を進めた。

- ・委嘱状交付式 6月4日(未設置、変更した推進員への委嘱状交付)
- ・設置区数 51地区 (H25 47地区)
- ・福祉推進員数 75人 (H25 68人)
- ・研修会

第1回研修会 6月4日 制度概要と対象者について

第2回研修会 2月27日 活動情報交換 研修会

講演『認知症の方への支援～認知症を知ろう～』

講師 山形県作業療法士会

山形県立保健医療大学 作業療法学科

井上香氏

⑱社協会長杯ゲートボール大会の開催

- ・10月2日(木) 荒町東公園
- ・参加 10チーム (H25 12チーム) (H24 13チーム)

⑱ ボランティア作文表彰

第 6 回 ボランティアフェスティバルの際に表彰を行った。

- ・ 小学生の部 優秀賞 1 人
優良賞 2 人
- ・ 中学生の部 優秀賞 1 人
優良賞 2 人
佳作 5 人
- ・ 高校生の部 優秀賞 1 人

⑳ 歌声喫茶「すこやか広場」の開催

講師に永井勉氏、毎月第 2 水曜日開催 年回 12 回開催 受講生 31 人

㉑ 絵手紙教室

講師に石川吉晴氏 毎月第 4 水曜日開催 年間 12 回 受講生 24 人

㉒ 歌謡教室「すこやか広場」への支援

講師に堀米節子氏、4 月 3 日開講、毎月第 1・3 木曜日開催
年間 24 回開催、受講生 35 人(H26.4.1 より自主教室として支援)

| | | |
|--------------------------|---|--------------------------------|
| <p>2. 共同募金配分 金事業</p> | <p>1. 一般募金配分金事業</p> <p>①友愛訪問事業</p> <p>重度障がい者、寝たきり高齢者宅に、月1回の訪問活動を、民生委員を通じて 行い、安否確認や家族の激励を行った。その折、ゴミ袋などの生活用品をお届け し支援している。</p> <p>延べ訪問者数 448人（月平均38人） （H24 613人）（H25 517人）</p> <p>②一人暮らし高齢者交流会事業</p> <p>一人暮らし在宅高齢者を対象に心身のリフレッシュや交流を図るため交流会 を実施した。</p> <p>第1回交流会 8月7日（木）参加者93人 由良温泉 八乙女 第2回交流会 10月30日（木）参加者103人 最上方面 瀬見温泉 （H25 1回目 66人、2回目 76人） （H24 1回目 66人、2回目 74人）</p> <p>③子どもと高齢者のふれあい事業</p> <p>高齢者から子どもへ伝承する「しめ飾り、ミニ門松、団子木作り」等を老人ク ラブなどの協力を得て開催した。</p> <p>④児童遊園遊具の整備補助・・・塩之渕地区、造山地区</p> <p>⑤児童生徒ボランティアの育成</p> <p>小・中学校・高等学校のボランティア活動支援のため助成した。</p> | <p>3,367,866 2,733,549</p> |
|--------------------------|---|--------------------------------|

⑥第6回ボランティア・フェスティバルの開催

ボランティアの機運醸成や交流を図るため、ボランティア連絡協議会や関係団体などの協力を得て、総合福祉センターで開催した。

・10月25日（土） 河北町総合福祉センター

・内 容

1) ボランティア団体の活動発表

NPO法人河北まちづくりネットワークひまわり

2) 協賛団体の展示や発表

- ・手話奉仕員養成講座生・・・手話歌の発表
- ・ひかり幼稚園・・・お遊戯
- ・ひだまりの家かほく・・・とん汁
- ・ボランティアグループのぞみの会・・・こんにやく
- ・(高校生ボランティア) ピエロ・・・赤い羽根募金

3) 災害ボランティアセンターの研修

- ・無洗米による炊き出し訓練・・・指導：河北町赤十字奉仕団
- ・災害ボランティア講演会

演題：「福島県の復興状況について」～今後のボランティア活動～

講師：NPO 法人シャローム 代表 大竹 静子 氏

大竹 隆 氏

| | | |
|-----------|---|----------------------|
| | <p>⑦身障者交流会の開催 身障者の心身のリフレッシュや交流を図るため平成 23 年度から交流会を実施した。3 月 31 日(火)、ダーツ及び輪投げ大会後に田宮町長講話を聴講した。</p> <p>⑧東日本大震災支援 開催 なし</p> <p>2. 歳末助け合い配分金事業 河北町婦人会の「愛の募金」の配分金や仏教会の募金等の善意を、配分委員会を開催し、助け合い資金を贈った。</p> | 634,317 |
| 3. 地域福祉事業 | <p>①生活福祉資金貸付事業 低所得者等の経済的自立と安定した生活を支援するため、町、民生委員児童委員と連携し、山形県社会福祉協議会が貸し付ける生活福祉資金の貸付相談、償還指導を行った。</p> <p>・貸付 緊急小口資金 3 件 2 1 0, 0 0 0 円 教育支援資金 1 件 1, 0 5 6, 0 0 0 円</p> | 1,583,238 773,254 |

| | | |
|-----------------------------|--|-------------------------|
| | <p>②心配ごと相談所の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心配ごと相談所・・・毎週水曜日、心配ごと相談員による相談。 ・ 総合相談所・・・毎月第4水曜日、弁護士、司法書士、土地家屋調査士、人権擁護委員、行政相談員などの専門家による相談。 ・ 相談概要は、別紙の通り <p>③善意銀行</p> <p>町民の善意による金品の預託を受け、地域福祉の推進を図るため、適切な活用を図った。</p> <p>行路賃支給等 利用者 なし</p> | <p>809,984</p> <p>0</p> |
| <p>4. 福祉サービス 利用援助事業</p> | <p>①福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）</p> <p>山形県社会福祉協議会の委託を受けて、生活に不安のある高齢者や障がい者の方に、地域で安心して暮らせるように、福祉サービスの利用契約手続きや日常的な金銭管理援助を実施した。</p> <p>利用者 15人 訪問回数 193回</p> <p style="text-align: right;">【職員1名配置】【生活支援員3名】</p> | <p>2,777,867</p> |

| | | |
|----------------|--|---|
| <p>5. 受託事業</p> | <p>①戦没者追悼式・平和祈念式事業</p> <p>先の大戦による戦没者等の追悼と平和を祈念する式典を河北町仏教会の協力を得て、仏式で催行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 5月27日(火) ・会 場 どんがホール ・参加者 約150人 <p>②福祉のまち育成事業</p> <p>ボランティア活動を推進するため、ボランティア団体の育成支援やボランティア養成講座の開催、ボランティア体験活動などを実施した。</p> <p>○ボランティア団体の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河北町心身障害児者協会 ・のぞみの会 ・いろえんぴつ ・ピエロ(高校生ボランティア) ・桜(手話サークル) <p>○ボランティア講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月25日(土) 河北町総合福祉センター ・参加者 102人(町の自主防災リーダー研修会も兼ねる。) ・内容 演題:「福島県の復興状況について」 <p style="text-align: center;">～今後のボランティア活動～</p> <p style="text-align: center;">講師: NPO 法人シャローム 代表 大竹 静子氏 大竹 隆 氏</p> | <p>13,742,961</p> <p>250,000</p> <p>600,000</p> |
|----------------|--|---|

- ・ 3月3日(火) 宮城県石巻市 参加者 20人
- ・ 内容 東日本大震災地視察研修
みらいサポート石巻「つなぐ館」
「語り部」講話と現地視察
説明者 一般社団法人 みらいサポート石巻 佐藤 茂久 氏
道の駅「上品の郷」太田 実 駅長 講話

○ボランティア体験活動

- ・ チャリティーライブ in どんがホール 12月21日(日) 来場者数 237人
24時間テレビ「愛は地球を救う in かほく」
- ・ スカイランタン in どんが H27.1月11日(日) 成人の日点灯開始午後4時
- ・ ひだまりの家との田楽交流会 H27.2月20日(金) 溝延4区公民館 30人

③緊急通報体制等整備事業

これまで3名の緊急時の通報先の協力を得ながら一人暮らし在宅高齢者宅等へ緊急通報の対応をしておりましたが、平成24年度から緊急時の通報先を「警備会社」に委託する方式に変更した。

- ・ 新規貸付 23台
- ・ 返却 19台
- ・ 年度末設置数 126台

2,587,653

④寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業

282,521

一人暮らし高齢者、介護を要する寝たきりの方の寝具類のクリーニング代の一部を助成した。

・利用者数 99人 ・枚数 174枚

・内訳

・1枚もの毛布 40枚 ・2枚もの毛布 40枚 ・布団 40枚

・こたつ掛敷（長方形）27枚 ・こたつ掛敷（正方形）27枚

（H24 85人 179枚） （H25 98人 181枚）

⑤生きがい活動支援通所事業

5,758,700

要介護認定外の方や65歳以上で家に引きこもりがちな高齢者を対象に、週3回(月、水、金)生きがい活動を行います。

【パート職員2名配置】

○内容

| 開設日 | 月曜日 | 水曜日 | 金曜日 |
|-----|------|------|------|
| 回数 | 49回 | 48回 | 50回 |
| 延人数 | 374人 | 802人 | 740人 |
| H24 | 620人 | 943人 | 862人 |
| H25 | 569人 | 597人 | 655人 |

○手話奉仕員の養成講座

・期間 4月～12月

入門コース 17回 受講生 6人

基礎コース 17回 受講生 6人

・講師 河北ろうあ部会（角川悟氏、奥山健一氏）

（H24 入門9人 基礎5人）（H25 入門5人 基礎8人）

⑧介護予防実践事業

総合福祉センター内の「すこやか広場」を活用して、講師に鹿俣由美氏(健康運動指導士)を迎え介護予防の講座火曜「笑って体操教室」を開催した。

1,009,120

○健康運動教室の開催

臨時講座

なし

定期講座(12回)

・前期Aコース 4月15日～9月16日 参加者 31人

・前期Bコース 4月8日～9月30日 参加者 15人

・後期Aコース 10月7日～3月17日 参加者 30人

・後期Bコース 10月14日～3月24日 参加者 20人

| <p>6. たすけあい事業</p> | <p>①たすけあい資金の貸付相談支援 低所得者等の経済的自立と安定した生活を推進するため、町、民生委員児童委員と連携し、福祉資金の貸付、償還指導を行った。 ○内容については、別紙のとおり（別表2）</p> | <p>0</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|--------------------|----------------|--------------------|--------|-------|-------|-----|----|-----|--|---|-----|----|-----|--|-------------------|
| <p>7. 居宅介護支援事業</p> | <p>介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護保険のサービスを利用する方の相談に応じ、介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、事業所や施設等との連絡・調整を行う事業。</p> <p>サービス対象者予定数 98.5人／月平均</p> <p>②要介護認定調査事業委託 調査対象者予定数 7.5人／月平均</p> <p>③介護予防サービス計画作成受託 サービス計画作成対象者予定数 12.7人／月平均</p> <p>利用実績 (人)</p> <table border="1" data-bbox="483 1043 1776 1337"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>①指定居宅介護支援・利用者数</th> <th>③介護予防サービス計画作成・利用者数</th> <th>利用者数 計</th> <th>対前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26.4</td> <td>116</td> <td>12</td> <td>128</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>111</td> <td>12</td> <td>123</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 月 | ①指定居宅介護支援・利用者数 | ③介護予防サービス計画作成・利用者数 | 利用者数 計 | 対前年度比 | H26.4 | 116 | 12 | 128 | | 5 | 111 | 12 | 123 | | <p>19,415,495</p> |
| 月 | ①指定居宅介護支援・利用者数 | ③介護予防サービス計画作成・利用者数 | 利用者数 計 | 対前年度比 | | | | | | | | | | | | | |
| H26.4 | 116 | 12 | 128 | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 111 | 12 | 123 | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|----------|----------|--------|----------|--------|
| 6 | 1 0 9 | 1 3 | 1 2 2 | |
| 7 | 1 1 0 | 1 2 | 1 2 2 | |
| 8 | 1 0 6 | 1 3 | 1 1 9 | |
| 9 | 1 0 6 | 1 7 | 1 2 0 | |
| 1 0 | 1 0 5 | 1 4 | 1 1 9 | |
| 1 1 | 1 0 6 | 1 4 | 1 2 0 | |
| 1 2 | 1 0 2 | 1 4 | 1 1 6 | |
| H 2 5. 1 | 1 0 3 | 1 2 | 1 1 7 | |
| 2 | 1 0 4 | 1 2 | 1 1 6 | |
| 3 | 1 0 4 | 1 0 | 1 1 4 | |
| H 2 6 計 | 1,1 8 2 | 1 5 2 | 1,3 3 4 | 1. 0 2 |
| 月平均 | 1 0 5. 2 | 1 2. 7 | 1 1 1. 2 | |
| H 2 5 | 1,2 6 3 | 4 4 | 1,3 0 7 | 0. 8 8 |
| H 2 4 | 1,3 2 1 | 1 6 7 | 1,4 8 8 | 0. 9 6 |
| H 2 3 | 1,2 5 9 | 2 9 2 | 1,5 5 1 | 1. 1 1 |
| H 2 2 | 1,2 4 0 | 1 5 6 | 1,3 9 6 | 0. 9 4 |

【職員 3 名、嘱託職員 1 名配置】

| | | |
|-------------------|---|--|
| <p>8. 居宅介護等事業</p> | <p>①指定訪問介護事業</p> <p>訪問介護員（ホームヘルパー）が、要介護又は要支援状態にある方に対し、心身の特性に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、在宅での介護や援助を行う事業</p> <p>なお、平成 18 年度からの介護認定の改正により、要介護認定者から要支援認定者への増加の傾向と、在宅要介護者の減少により訪問介護のサービス提供対象者は、年々減少している。</p> <p>○サービス対象者予定数 64 人／月平均</p> <p>②指定介護予防訪問介護事業</p> <p>○サービス対象者予定数 21 人／月平均</p> <p>③指定居宅介護事業（障がい福祉サービス事業）</p> <p>訪問介護員（ホームヘルパー）が、身体障がい又は知的障がい、精神障がいを持つ方に対し、心身の特性に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、在宅での介護や援助を行う事業</p> <p>○サービス対象者予定数 9 人／月平均</p> <p>なお、各事業所とも町民から広く支持信頼を受けるよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会等への積極的な参加 ・より質の高いサービスの提供 ・対象者からの要望等に対する適切な対応 | <p>51,500,326</p> <p>49,012,866</p> <p>(予防訪問も含む)</p> <p>(介護報酬 59,216,540)</p> <p>2,487,460</p> |
|-------------------|---|--|

・各種イベントなどの会場における事業所の広報、PR活動の実施を心がけ、介護保険サービス事業の展開を行いました。

④介護職員処遇改善交付金事業

介護職員の処遇改善に引き続き務め、介護報酬の4%が交付されました。

利用実績

(人)

| 月 | ①訪問介護・利用者数 | ②介護予防訪問介護・利用者数 | 計 | 対前年度比 | ③居宅介護・利用者数 |
|--------|------------|----------------|----|-------|------------|
| H26. 4 | 67 | 18 | 85 | | 8 |
| 5 | 69 | 20 | 89 | | 8 |
| 6 | 66 | 19 | 85 | | 8 |
| 7 | 70 | 21 | 91 | | 9 |
| 8 | 69 | 19 | 88 | | 8 |
| 9 | 63 | 22 | 85 | | 9 |
| 10 | 64 | 23 | 87 | | 9 |
| 11 | 69 | 26 | 95 | | 9 |
| 12 | 63 | 22 | 85 | | 10 |
| H27. 1 | 56 | 22 | 78 | | 10 |
| 2 | 56 | 22 | 78 | | 10 |
| 3 | 64 | 20 | 84 | | 10 |

(処遇改善交付金
2,076,758)

| | | | | | |
|---------|-------|-------|---------|--------|-------|
| H 2 6 計 | 7 7 6 | 2 5 4 | 1,0 3 0 | 0. 9 7 | 1 0 8 |
| H 2 5 | 8 3 4 | 2 3 3 | 1,0 6 7 | 1. 0 5 | 1 0 3 |
| H 2 4 | 7 8 9 | 2 2 4 | 1,0 1 3 | 0. 8 9 | 9 5 |
| H 2 3 | 9 6 6 | 1 7 7 | 1,1 4 3 | 1. 1 2 | 7 8 |
| H 2 2 | 8 8 4 | 1 3 4 | 1,0 1 8 | 0. 9 5 | 9 9 |

【職員 2 名、嘱託職員 2 名、事務職員 0.7 名、パート登録職員 1 7 名配置】

総サービス提供時間

| 年 度 | 総サービス提供時間 | 対前年度比 (%) | 指 数 |
|-------|---------------|-----------|--------|
| H 2 6 | 1 6, 2 4 8. 8 | 1 0 0. 2 | 1. 0 0 |
| H 2 5 | 1 6, 2 1 4. 8 | 9 9. 4 | 0. 9 9 |
| H 2 4 | 1 6, 3 2 0. 7 | 9 2. 8 | 0. 9 2 |
| H 2 3 | 1 7, 5 8 0. 1 | 9 7. 0 | 0. 9 7 |
| H 2 2 | 1 8, 1 1 8. 2 | 9 3. 9 | 0. 9 4 |

| | | |
|------------------------------------|---|--|
| <p>9. 日本赤十字社 河北町分区</p> | <p>①日本赤十字社河北町分区 日本赤十字社河北町分区の事務局として、赤十字活動の推進、東日本大震災の災害義援金の募集を行った。</p> <p>②赤十字奉仕団(河北町婦人会)を中心とした社費の収納 (H 2 6 5, 0 6 2件 3, 5 4 3, 4 0 0円) (H 2 5 5, 0 7 1件 3, 5 4 9, 7 0 0円) (H 2 4 5, 0 9 4件 3, 5 6 5, 8 0 0円)</p> <p>③各種講習会の開催(救急救命法、家庭看護法、水上安全法) ④町や県の総合防災訓練への参加 ⑤災害見舞品の配布 ⑥災害義援金の募集</p> | |
| <p>10. 山形県共同 募金会河北町 分会</p> | <p>①山形県共同募金会河北町分会 山形県共同募金会河北町分会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を実施した。</p> | |

2. 公益事業特別会計

| | | |
|------------------------|--|-------------------|
| <p>1. 福祉バスの運行業務</p> | <p>①福祉バスの経営 町の福祉バス1台の受託運行と社会福祉協議会の福祉バス1台の運行を町の補助を受けて行った。 【嘱託職員（運転手）1名、パート職員（運転手）2名配置】 詳細 別紙のとおり</p> | <p>6,938,667</p> |
| <p>2. 総合福祉センターの管理</p> | <p>①総合福祉センターの管理 町の指定を受けて、総合福祉センターの指定管理業務を行った。 【嘱託職員1名配置】 詳細 別紙のとおり</p> | <p>7,837,497</p> |
| <p>3. 地域包括支援センター業務</p> | <p>①地域包括支援センター業務 町の委託を受けて、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師の3職種の職員を配置し、地域包括支援センターの管理業務を行いました。 ○見守り対象一人暮らし高齢者数 481人（平成26年4月1日現在） ○介護予防サービス計画対象者予定数 90人／月平均 【職員3名・嘱託職員1名配置】</p> | <p>25,224,241</p> |

平成 26 年度河北町地域包括支援センター事業 実績

1 包括的支援事業

(1) 介護予防ケアマネジメント

①二次予防事業対象者に対する介護予防ケアマネジメント

二次予防事業

| 事業 | 計画作成件数 |
|----------------|--------|
| 運動器の機能向上事業（3回） | 26 |
| 口腔機能向上事業（3回） | 21 |

介護予防ケアプラン評価

| | |
|------------------|----|
| 評価件数 | 57 |
| プラン継続 | |
| プラン変更 | |
| 介護給付に変更 | |
| 予防給付に変更 | |
| 介護予防特定高齢者施策の中で変更 | 2 |
| 介護予防一般高齢者施策に変更 | 55 |
| 終了 | 57 |

② 予防給付対象者に対する介護予防ケアマネジメント

介護予防ケアマネジメント実施件数

| 月 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 件数 | 176 | 176 | 185 | 189 | 192 | 196 | 194 | 195 | 198 | 194 | 189 | 193 | 2,277 |

介護予防ケアプラン評価

| | |
|------------------|-----|
| 評価件数 | 403 |
| プラン継続 | 0 |
| プラン変更 | 387 |
| 介護給付に変更 | 46 |
| 予防給付に変更 | 341 |
| 介護予防特定高齢者施策の中で変更 | |
| 介護予防一般高齢者施策に変更 | |
| 終了 | 16 |

○終了の内訳

サービス利用中止 16

介護予防サービス計画策定件数

| 居宅介護支援事業所 | 計画件数 |
|----------------------|-------|
| 社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所 | 145 |
| 指定居宅介護支援事業所 はつらつ | 60 |
| 指定居宅介護支援事業所 ひいな | 132 |
| 指定居宅介護支援事業所 ケアハウス 紅寿 | 234 |
| 居宅介護支援事業所 えがお | 70 |
| 河北町地域包括支援センター | 1,611 |
| 青空指定居宅介護支援事業所 | 25 |
| 計 | 2,277 |

(2) 総合相談・権利擁護業務

相談件数 (訪問、電話、来所)

| 月 | 介護保険 その他保健福祉 | 権利擁護 | 高齢者虐待 |
|----|-----------------|------|-------|
| 4 | 55 | 3 | 1 |
| 5 | 64 | 2 | 1 |
| 6 | 76 | 1 | 0 |
| 7 | 74 | 4 | 0 |
| 8 | 49 | 6 | 0 |
| 9 | 71 | 7 | 0 |
| 10 | 85 | 5 | 0 |
| 11 | 61 | 0 | 3 |
| 12 | 57 | 0 | 0 |
| 1 | 67 | 0 | 9 |
| 2 | 68 | 0 | 1 |
| 3 | 67 | 3 | 6 |
| 計 | 794 | 31 | 21 |
| 合計 | 846 | | |

| 相 談 内 容 | 件 数 |
|------------------------|--------|
| 介護保険その他の保健福祉サービスに関すること | 794 |
| 権利擁護(成年後見制度等)に関すること | 31 (4) |
| 高齢者虐待に関すること | 21 (6) |
| 計 | 846 |

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

| 事 業 内 容 | 回 数 |
|------------------|-----|
| 在宅介護支援センター業務推進会議 | 6 |
| 困難事例ケース検討会議 | 21 |
| 包括支援センター業務打合せ | 12 |
| ケアマネジャー研修会 | 3 |
| 1回目参加者 19名 | |
| 2回目参加者 19名 | |
| 3回目参加者 21名 | |